



《目次》

◆お知らせ/イベント情報など

【お知らせ】海外先進地視察報告会の開催レポートが掲載されました

【受付中】「対話型全国説明会」4会場の参加お申し込みを受付中

【イベント】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の今後の予定と出展報告

◆その他

【NUMOコラム】“日本一”深い場所？ “世界一”深い場所？

【よくあるご質問】海外で処分してもらえないのですか？

◆お知らせ/イベント情報など

【お知らせ】海外先進地視察報告会の開催レポートが掲載されました

NUMOでは、地層処分に関する自主的な学習活動を行う団体への支援を行う事業を行っており、より深く知りたい皆さまからの「実際に処分地選定を受け入れた国の方々の想いを知りたい」という声に応えるため、地層処分場の建設等が進む海外先進地（フィンランド、スウェーデン）の視察会を実施しました。

このたび、10月5日に開催した「海外先進地視察成果報告会」の開催レポートが掲載されましたので、お知らせいたします。

▽詳細についてはこちら

<https://www.jaero.or.jp/ohen/02report/r1910051.html>

【受付中】「対話型全国説明会」4会場の参加お申し込みを受付中

「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会」について、現在4会場の参加お申し込みを受付中です。

初めての方も大歓迎です。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

（開催日程）

- ・12月11日(水)：兵庫（西宮市）西宮市フレンテホール
- ・12月21日(土)：青森（八戸市）ユートリー
- ・12月22日(日)：青森（弘前市）ヒロロ
- ・1月22日(水)：静岡（沼津市）プラサヴェルデ

▽「高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する対話型全国説明会」の詳細や参加お申し込みについてはこちら

<https://www.numo.or.jp/taiwa/2018/>

【イベント】 コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」の今後の予定と出展報告

■今後の予定

○11月17日(日)：奈良女子大学【青少年のための科学の祭典 2019 奈良大会】  
(奈良県奈良市)

▽詳細についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/topics/201919110715.html>

○11月23日(土・祝)・24日(日)：鯖江市文化の館【原発のごみ処分について考えよう】  
(福井県鯖江市)

▽詳細についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/topics/201919111110.html>

■出展報告

○11月3日(日・祝)：東海大学 湘南キャンパス【第65回 東海大学建学祭】(神奈川県平塚市)

○11月9日(土)・10日(日)：倉敷科学センター【青少年のための科学の祭典 2019 倉敷大会】(岡山県倉敷市)

▽これまでの出展実績についてはこちら

<https://www.numo.or.jp/pr-info/pr/geomirai/archives.html>

◆その他

【NUMOコラム】“日本一”深い場所？ ”世界一”深い場所？

高レベル放射性廃棄物は、地下300メートル以深という非常に深い場所に埋設されます。この、地下300メートルという一見想像もできない世界、実は、このような地下深くへの人工的な掘削は、これまでに前例がないわけではありません。今回は、世界や日本の「前例」についてご紹介したいと思います。

まずは、調査のために掘る細い縦穴である「ボーリング孔」ですが、世界で一番深いものは、ロシア北西部、フィンランドとの国境近くのコラ半島にあります。深さ約12,000メートル、マリアナ海溝よりさらに約1,000メートル深い場所となります。これは、1990年に旧ソ連が地下環境を学術的に調べるために掘削した穴です。

ちなみに、日本で一番深いのは、1993年に新潟県で資源調査のために掘られた約6,300メートルのボーリング孔です。

次に、「トンネル」です。世界一深いものはスイスのゴッダルド・ベーストンネルで、深さは約2,300メートルです。国内で最も深いものは群馬・新潟県境に位置する上越新幹線の大清水トンネルで、深さは約1,300メートルです。

最後に、「人工的に掘削して降り立った最も深い場所」。それは、南アフリカのムポネン金鉱山で、深さ約4,000メートルとされています。

このように、国内外でさまざまな深さの掘削がなされています。それらの調査や工事の経験をもとに蓄積されたボーリングやトンネルの掘削技術などを用いて、NUMOは地層処分事業を確実に実施していきます。

#### 【よくあるご質問】

NUMOホームページに掲載している「よくあるご質問」をピックアップし、ご紹介します。今回は・・・

Q. 海外で処分してもらえないのですか？

A.

日本で発生した放射性廃棄物は、日本国内で処分するというのが、原子力先進国としての責務であると考えています。

なお、日本も締結している国際条約「使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する条約」でも、原則発生した国で処分されるべき旨が規定されています。

▽「よくあるご質問」はこちら

[https://www.numo.or.jp/q\\_and\\_a/](https://www.numo.or.jp/q_and_a/)

☆NUMOメールマガジンのご感想やご意見をお待ちしております

webmaster@numo.or.jp までどうぞ！

\*\*\*\*\*

メルマガ登録はこちらから <https://www.numo.or.jp/mailmagazine/>

メルマガ解除はこちらから [webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp)

(件名に「メルマガ解除」と記載してください)

ご感想、ご意見はこちらから [webmaster@numo.or.jp](mailto:webmaster@numo.or.jp)

〔連絡先〕 広報部 TEL 03-6371-4003

NUMOホームページ <https://www.numo.or.jp/>

\*\*\*\*\*